

向日葵



～強く明るく前向きに～

「相高祭 is over. そして、次は何をやる？」

3組担任 原田 昌昭

相高祭が終わった。悲しいけれど、..終わりにしよう、..キリがないから、..。

今からは何をすべきか？ もちろん、期末考査に向けて勉強していくのですが、高2の今はどんな時期でしょうか。4～5月に個人面談をして思ったことは、多くの人が驚くほど大学のこと、受験のことについて知らない。したがって、受験までのスケジュールについて説明することにしました。まず、どの時期に何をすべきかをおおまかに表にまとめました。

2年生			3年生			
1学期	2学期	3学期	1学期	夏休み	2学期	3学期
基礎の積み上げ期	受験準備の本格化	受験生への移行期	基礎完成+演習への移行期	受験の天王山	実戦力養成期	本番期
興味のある分野をぼんやり考える。大学について情報収集を始める。オープンキャンパスに参加する。	「この辺りの大学かな…」を3～5校ほど挙げる。	模試の結果を参考に第一志望を1～2校に絞る。	過去問を見て本当に受けたい大学を決定する。	共通テストの点を予想し併願校を含め最終調整する。	★共通テスト ★私立入試 ★国公立入試(前・中・後期)	

共通テストは、2028年1月15日(土)、16日(日)に行われます。国公立大学の前期試験は2月25日(金)頃です。共通テストは、この数年、相生高校の生徒は関西福祉大学で受験しています。前期試験は、出願した大学まで行って受験します。配点は大学・学部によって大きく異なりますが、わかりやすいように共通テストが1000点満点の広島大学を例に挙げましょう。広島大学工学部の場合、共通テストは1000点満点(国200 地公100 数200 理200 英200 情報100)、前期試験は1500点満点(数500 理500 英500)です。定員が約350人なので、共通テスト+前期試験の合計2500点のうち、高得点を獲得した上位350人が合格!という仕組みです。(実際には学科ごとの募集なので、あくまで単純に考えたとした場合です。) そこで皆さんは今何をやるべきなのか? 短期的には、目の前の授業を真剣に受ける、小テストや週末課題等の勉強をやる、中期的には定期考査や模試に向けての勉強をやる、長期的には受験勉強をやる、です。受験勉強は、よくマラソンに例えられます。その話はまた次回に…。

とにかく目標設定をし、目的意識を持って勉強に励んでください!

～相高祭を終えて～

6月12日(金)、13日(土)の2日間、第48回相高祭が盛大に開催されました。昨年は雨が降っていましたが、今年は天候にも恵まれました。2年生はステージ担当で、各クラス工夫を凝らしたステージでの演技を見せてくれました。クラスの団結力も深まったようで、みんなの笑顔がたくさん見られた素敵な2日間となりました。

1組 男子

私は1年生の時インフルエンザにかかっていたので初めての文化祭でした!初めてということもあり、どんな感じなんだろうとワクワクする反面、劇はどんな感じで進むのだろうかという不安もありました。実際に劇をしてみるとみなさんが温かく見守ってくれたこともあり、不安よりも楽しかったという気持ちになりました。順位としての結果は、でなかったかもしれませんが、自分はこのクラスのメンバーで、劇をやり切れたことが本当に良かったなと思いました。他にも3年生の食品バザーでは美味しいものがあり、来年は自分たちの番だと思うと、楽しみな気持ちでいっぱいです。次の行事として、球技大会や体育大会あると思うのでこのクラスで協力して頑張っていきたいです!

2組 男子

今年の文化祭は、劇をできたことがとても印象に残りました。テーマは「アナと雪の女王」で、私はハンス役を担当しました。最初にハンス役をやってほしいと言われたときは、自分にできるか不安で少し困りました。しかし、みんなと一緒に練習を重ねていくうちに、だんだん役になりきって演技できるようになりました。本番では緊張しましたが、観客のみなさんがたくさん笑ってくれたり反応してくれたりしたので、とても楽しく演技をすることができました。特に、自分の演技で会場が盛り上がったときは、とてもうれしく練習を頑張ったよかったです。結果としては、優秀賞や最優秀賞を取ることができず、とても悔しかったです。しかし、クラスみんなで協力して一つの劇を作り上げ、多くの人に楽しんでもらったことは大きな思い出になりました。今回の文化祭で学んだ協力することの大切さや、人前で演技をする楽しさを今後の学校生活にも生かしていきたいです。

3組 女子

今回の相高祭を通して、私は協力することの大切さを学びました。今年は劇をするということで昨年とは比べものにならないぐらい準備が大変でした。一から道具を作ったり、衣装を用意したり、セリフを覚えてみんなで演技の練習をしたり、みんな遅くまで学校に残って本当に大変でした。その準備の中でたくさんコミュニケーションを取ることが増えたので、以前よりもクラスの一体感が増えたと思います。賞は取れませんでした。みんな協力して作り上げた「アカイジ」は最高の舞台になったと思います。どのクラスの劇も完成度が高くて、見ていてとても楽しかったし、1年生のダンスも3年生の模擬店もとても楽しかったです。相高祭をきっかけに仲良くなれた子もできて最高の文化祭、2日間になりました！！

4組 男子

今回の相高祭はとても楽しかったです。なぜなら、自分の所属している部活である茶道部での活動、バザーCM、他のクラスの劇、または自衛隊のバザーを回ったりなど、楽しめることがたくさんあったからです。そして何より、一番楽しむことが出来たものは、自分のクラスの劇でした。なぜなら、長い時間をかけてクラスみんなで劇の準備をし、よりよい劇にできるようにしてきたからです。また、自分も劇に出るので、演技の練習をクラスみんなでやったのですが、その時にクラスの間での仲が凄く深まったと思いました。クラスの劇では、優秀賞を取ることができてうれしかったですし、劇に出たことで新しい視点を見つけられたと思いました。今回の経験を活かして、また新しいことに挑戦したいです。

5組 女子

今回の文化祭では、私は妖怪ウォッチの劇の背景制作やフォトスポット作りに取り組みました。背景制作では、劇の雰囲気や伝わるように色使いや細かい部分まで工夫しながら作業しました。大きな作品をみんなで協力して完成させるのは大変でしたが、少しずつ形になっていく様子を見るのがとても楽しかったです。また、フォトスポット作りでは、来場者の方に楽しんでもらえるようにデザインや装飾を考えました。準備期間中は思うように進まないこともありましたが、クラスみんなで協力して完成させることができました。当日、たくさんの方が写真を撮っている姿を見たときは、とても達成感がありました。文化祭を通して、一つの作品を作り上げるためには協力することが大切だと改めて感じました。また、自分たちが時間をかけて準備したものを多くの人に楽しんでもらったことがとてもうれしかったです。今回の経験で得た達成感や仲間との思い出を、これからの学校生活にも生かしていきたいです。

【編集者のヒトリゴト】

今年の相高祭は、みなさんの様々な一面を見ることができました。リーダーシップをとって演技練習したり、舞台上でいつも見せないような動きを見せてくれたり、裏方ではあるけれど背景作りに真剣に向き合ったり。そして感想文には、多くの生徒たちから満足感や充実感が溢れており、きっと大成功だったのでしょう！

来週から期末考査が始まります。これだけの情熱がある49回生ならば、きっと期末考査も…。期待です！

